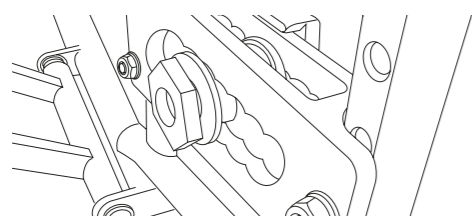


各部の調節のしかた(つづき)

- 5** 皿パネ、車軸ホルダーナットを仮止めします。



- 6** ①車軸ボルトをスパナ(19mm)で固定します。
②車軸ホルダーナットをモンキースパナで締付けて固定します。

- 7** 反対側も同様に行います。
※次に駐車ブレーキを調節してください。
(NOVAⅢ取扱説明書7ページ参照)

ステップの位置調整

直下型の場合(NOVAⅢmini専用)

ポスト式の場合はNOVAⅢ取扱説明書10ページ参照

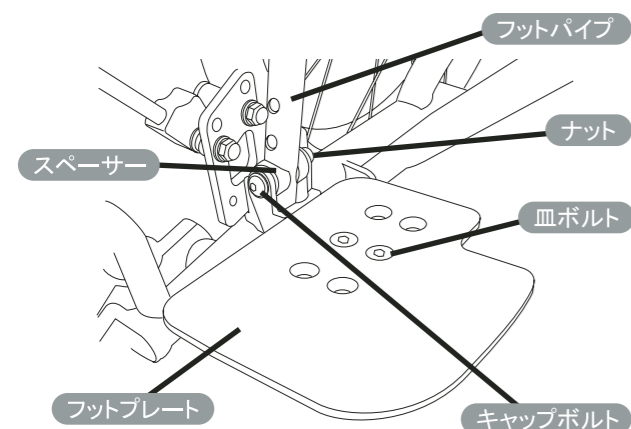
使用者にあわせて、ステップの高さ、前後位置、角度を適切な位置に調節してください。
調整後にステップがしっかり固定されていることを確認してください。

● ステップ高の調整

4段階調節できます。(1番下の穴は使用しません。)

使用する工具 5mm六角レンチ 10mmスパナ

- 1** ①キャップボルトを六角レンチ(5mm)で固定します。
②ナットを緩めて取外します。



- 2** ①ボルトを引きぬきます。
②スペーサー2枚を取外します。

- 3** ①フットパイプの任意の穴位置にスペーサー2枚を挟みます。
②ステップをセットします。

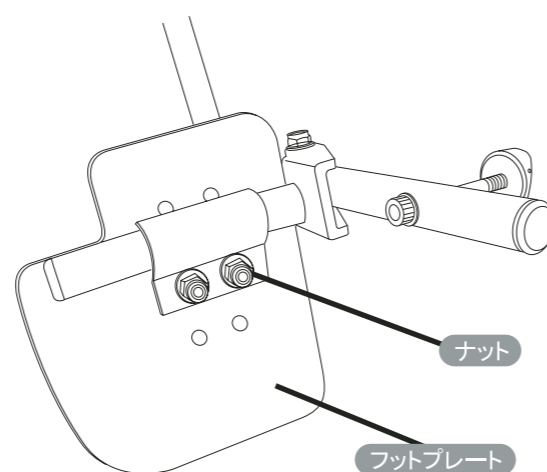
- 4** ①ボルトを通します。
②ナットを締付けてセットします。

- 5** 反対側も同様に行います。

● ステップの前後・角度調整

使用する工具 4mm六角レンチ 10mmスパナ

- 1** ①フットプレート上面の皿ボルト2本を六角レンチ(4mm)で固定します。
②プレート底面のナットを緩めて取外します。



- 2** ①フットプレートの角度とボルト穴を適切な位置に合わせます。
②ボルトを通しナットを締付けて固定します。
※角度のみ調整する場合は、ボルトは取り外さずに行えます。

- 3** 反対側も同様に行います。

オプションのつかいかた

本製品には、オプション部品を多数用意しております。
オプション部品は本製品のご注文時に、必要に応じてお選びいただけますので、お客様ごとに装備内容が異なります。ご自分の車いすに装備されたオプション部品をご確認の上、必要な箇所をお読みください。

介助ブレーキ

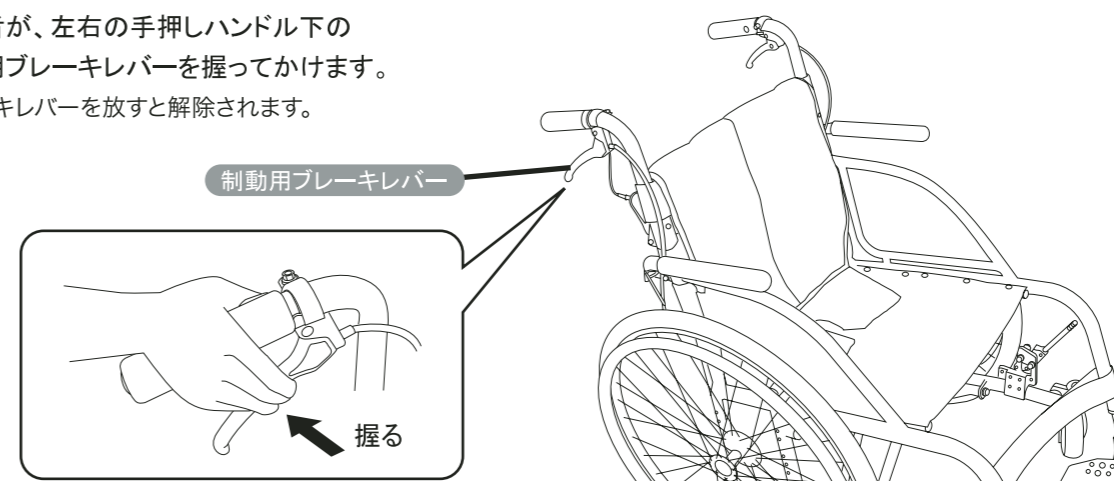
⚠ 危険

- 過度なスピードは出さないでください。
- スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
- 急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。
- また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。

⚠ 警告

ブレーキをかける場合は、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってください。
転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

介助者が、左右の手押しハンドル下の制動用ブレーキレバーを握ってかけます。
ブレーキレバーを放すと解除されます。



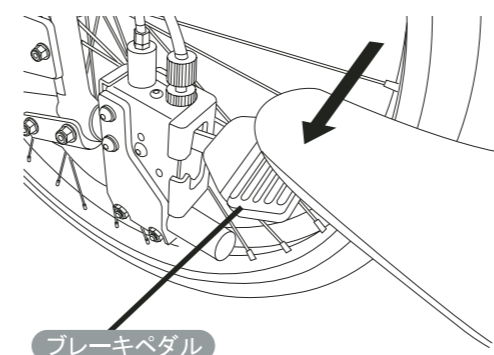
⚠ 注意

ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。(交換の目安:1年に1度)

フットブレーキ

⚠ 注意

- ブレーキ点検は定期的に行なってください。
- ワイヤーの交換は、安全のため定期的に交換してください。(交換の目安:1年に1度)
- 車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、本ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒などの事故につながる恐れがあります。



● ブレーキのかけかた

左右のブレーキペダルをカチッという音がするまで踏み込みます。
※車いすが動かないか確認してください。

● ブレーキの解除のしかた

ブレーキがかかった状態で左右のブレーキペダルをカチッという音がするまで踏み込みます。
※車いすを動かして、両側のブレーキが解除されたことを確認してください。